

・ 出木杉英才 （登場：ドラえもん）

いわずと知れた、『ドラえもん』に登場する藤子不二雄キャラきっての完璧超人。学問スポーツ芸術全てに秀で、未来の世界では火星に出張するほどの出世っぷり。そしてその才能をはなにもかけず、「結婚前夜」ではのび太としずかちゃんの結婚を祝い、ジャイアンにスネ夫と飲み明かす気さくさと優しさまでも兼ね備えている。まさに、完璧。

ところで、ジャイアン-カバ夫-ブタゴリラのように、出木杉にも他作品に登場する同じモチーフのキャラクターがマイナーながらも存在しており、『エスパー魔美』や、SF短編などで中分けの髪型に理知的な顔つきで弁の立つその姿を目にすることができる。ただ、彼らは一様になんらかの独善性を秘めた人物として描かれており、その姿が同じなだけに返って、のび太国の整備に明るくリーダーシップを発揮する出木杉とは似ても似つかない。

そう考えてみると、いわゆる完璧超人キャラでありながら名脇役として愛され続ける出木杉くん最大の魅力は、その類まれなる才能ではなく、彼の性格にあるのかもしれない。

・ のび太郎 （出典：ドラミちゃん）

のび太ではない。のび太郎である。ちなみに苗字は野比。のび太とは親戚筋にあたる。

実は彼、『ドラえもん』とは別の独立した漫画『ドラミちゃん』の主人公なのだ。この漫画『ドラミちゃん』は後に『ドラえもん』の一ストーリーとして再編され、「のび太郎」は「のび太」に修正され、現在でも『ドラえもん』の単行本に収録されている。ドラミちゃんが登場する「テレビ局をはじめたよ」と、ドラえもんが登場する「のび太放送協会」という内容がほぼ同一のお話が存在するのも、その名残である。

ただ、こののび太郎、よくよく見てみると外見・性格ともに微妙にのび太とは異なっている。特に相方がドラミちゃんということもあってか、ネス湖のネッシーについて自ら調査を試みたり、のび太に比べると積極的な所も見え隠れする。

今ではすっかり忘れ去られてしまった彼だが、てんコミの「のび太」の語を「のび太郎」に置き換えて、ドラえもんたちの町となり町で繰り広げられる、遠い親戚と妹との物語に思いを馳せてみるのも一興である。